

四	三	二	一	○
發行方 法	用振替 法の適 用	の法發號 條律行 項及の 及	名稱 及 び根 記	平省令 件等 成二 國債の發 第十三 告示第 三十 行等 示第 四十 第三 三百 四百 五十 七
				利十 付五 付回 國庫 債券 大 臣

とて価のし定あ争争う札価振の以律社ニ第年別十財十利  
 す得格決、めつ入入。<sup>○</sup>格替適下<sup>○</sup>債條一法会四政五付  
 るらを定価らて札札に以を機用<sup>○</sup>平、第項律計号法回  
 もれ募を格れ、と発よ<sup>○</sup>下競関を振<sup>○</sup>成株一、第ニ<sup>○</sup>庫  
 のる入受競た価同行<sup>○</sup>争は受<sup>○</sup>替十三式項第二關第昭  
 に価額け争利格時<sup>○</sup>発価に日受け<sup>○</sup>法等の振<sup>○</sup>四十す四和  
 よ格にた入率競にと行格付本銀も<sup>○</sup>十三る条二<sup>○</sup>（十年）<sup>○</sup>  
 るをよ各札を争行い<sup>○</sup>（以競し行のう<sup>○</sup>と<sup>○</sup>と<sup>○</sup>）<sup>○</sup>七  
 発そり申にそ入わう<sup>○</sup>（以争て行のう<sup>○</sup>と<sup>○</sup>と<sup>○</sup>）<sup>○</sup>七  
 行の加込お札れ<sup>○</sup>。下入行<sup>○</sup>と<sup>○</sup>と<sup>○</sup>。七  
 以下<sup>○</sup>發重みいのにる、<sup>○</sup>札わ<sup>○</sup>す<sup>○</sup>し<sup>○</sup>。七  
 行平のて利お入価値<sup>○</sup>れ<sup>○</sup>。の<sup>○</sup>十五  
 価均應募率い札格格<sup>○</sup>と<sup>○</sup>る。そ規  
 非格し募入とてで競競い入の定<sup>○</sup>法。

## 六

イ  
發

入価 行争 非者 特国 札非  
 札格 行 入価・別債 発競  
 発競 札格 第参 市行 争  
 行争額 發競 I 加場 入

## 五

イ  
方募

入価 法入  
 札格 決  
 発競 定  
 行争の

はづ円四付一會四つ定う額  
 、き、百國項計億いにち面  
 額發同十債のに二て基、金  
 面行法八に規関千はづ財額  
 金し第億つ定す六、き政で  
 額た四九いにる百額發法二  
 で利十千て基法九面行第兆  
 七付七はづ律十金し四千  
 千国条七、き第五額た条百  
 二債の百額發四万で利第三  
 百に規四面行十円千付一  
 四つ定十金し六、九國項  
 十いに五額た条特百債の  
 億て基万で利第別十に規

込募各割各當も各  
 み限國り申ての申  
 の度債當込るか込  
 応額市てみ。らみ  
 募の場るのその  
 額範特。応のう  
 を囲別募応ち  
 割内參額募應  
 りに加を額募  
 当お者案を価  
 ていご分順格  
 るてとに次の  
 。各のよ割高  
 申応りりい

非下額市札格競  
 価一を場で競争  
 格國定特あ争入  
 競債め別つ入札  
 争市る参て札發  
 入場も加、と行  
 札特の者財同  
 発別にご務時  
 行參よと大に  
 「加るに臣行  
 と者發応がわ  
 い・行募各れ及  
 う第一限國るび  
 」I以度債入価

十	九	八	七	八	口	八	口																			
發	振	額	最	払																						
行	替	低	行	争	非	者	特	國	札	非	入	價	込	行	争	非	者	特	國	札	非					
日	單	額	入	債	・	別	債	發	競	札	格	金		入	債	・	別	債	發	競	行	爭				
	位	面	札	格	第	參	市	行	爭	發	競	金		入	行	爭	額	發	競	第	參	市				
	位	金	發	競	I	加	場	入	行	爭	額			發	競	I	加	場	入							
平	す	額	の	振	五			円	千	五	万	二		百	国	条	特	三	国	条	特	千	面	行	十三	
成	る	の	記	替	万			七	十	円	兆			八	債	の	別	億	債	の	別	八	金	し	二	千
二	。	整	載	法	円			百	四	千				十	に	規	會	九	に	規	會	百	額	た	條	七
四	数	又	の					九	億	二				九	つ	定	計	千	つ	定	計	五	で	利	第	百
四	倍	は	規					十	千	百				億	い	に	六	い	に	万	一	付	一	五		
年	記	定						四	二	二				円	て	基	關	百	て	基	關	兆	國	項	十	
十	金	錄	に					億	百	億					、	づ	す	万	、	づ	す	千	債	の	五	
月	額	は	よ					三	十八	千					額	き	る	円	額	き	る	五	に	規	万	
九	に	、	る					千	八	万					面	發	法	面	發	法	百	つ	定	円		
日	よ	最	振					六	八	百					金	行	律	金	行	律	六	い	に	、		
	る	低	替					百	七	千					額	し	第	額	し	第	十	て	基	同		
	も	額	口					三	七十	万					で	た	四	で	た	四	五	は	づ	法		
	の	面	座					十	八	千					千	利	十	五	利	十	十	億	、	き	第	
	と	金	簿					八	三	十					七	付	七	七	付	七	三	額	發	六		

の経利発競 I 加場び札非入価發  
払過行争非者特国發競札格行  
込利入価・別債行争發競価  
み子率札格第参市及入行争格

(二)

け住よるがをじ額よに座も係  
る者り場非發たにりつにのる  
所又算合居行金百算い記と所  
得は出に住時額分出て載し得  
税外しは者にへのしほ又て税  
の国た、又おた二た、は振が  
稅法金前はいだ十金前記替源  
率人額記外てし・額記録口泉、  
をがに(一)國取、三か(一)さ座徵そ  
乗適當の法得当一らのれ簿収の  
じ用該算人す該五當算る中さ利  
たを非式でる國を該式ものれ子  
金受居にあ者債乗金にの口るに

(一)年  
額 錢 額  
面以面  
金上金  
額の額  
百そ百  
円れ円  
にぞに  
つれつ  
きのき  
百応百  
円募円  
三価二  
十格二  
十八錢

む十式は○  
も号に、募・  
のによ払入八  
と規り込決パ  
す定算金定一  
るす出額のセ  
るしに通ン  
期た加知ト  
日金えを  
に額、受  
払を次け  
い第のた  
込二算者

$$\frac{\text{額面金額の総額} \times 0.8}{100 \times \frac{365}{19}}$$

二十九八七六  
二十十十十  
十五  
十四

初  
期  
利  
子

払者入払元償償  
込札場利還還  
期參所金金期  
日加支額限子以

規下は期た期平  
定、が金とし、  
額二十二年三十  
年二十五年三月  
を控除すること  
がで  
き  
る。

額面金額  $\times \frac{0.8}{100} \times 2$

平成財務大臣から通知を受けた者  
日額平利てを毎年三月に支給する  
本面成子、支年三月に支給する  
銀行三をそ払三月に支給する  
額十支の期月に支給する  
百四払日と二月に支給する  
円年う以し十日  
に九。前、日  
つ月六各及  
き二月支び  
百十間払九  
円日に期月  
属に二  
すお十  
るい日